

第2回関川流域フォーラムについて

- ・第2回関川流域フォーラム
- ・安全で親しみのもてる関川、保倉川をめざして

第2回関川流域フォーラム開催 ～安全で親しみのもてる関川、保倉川を目指して～

平成17年6月に開催した関川流域フォーラムでは、流域の皆さん（59自治体約3,000世帯）の協力をいただき「川や水に対する意識調査（アンケート）」（平成15年実施）の結果を報告した。その後、関川流域委員会では、「車座方式住民意見交換会」、「川の見学会」、「ワークショップ（川と地域の勉強会）」を行い、流域住民から、川と水に対する意見、考え方を伺ってきた。その結果、皆さんの貴重なご意見を受けて、関川流域の基本的な考え方「安全で親しみのもてる関川、保倉川を目指して（案）」を取りまとめることができた。開催した「第2回関川流域フォーラム」では、取りまとめた関川流域の基本的な考え方「安全で親しみのもてる関川、保倉川を目指して」を報告し、会場の参加者から満場の拍手で承認された。

1. 日時 平成18年10月29日（日曜日）13時～17時
2. 場所 上越教育大学 大講堂
3. 参加者 約150人

●講演

関川流域委員長 小池俊雄氏より「流域住民が主人公の川づくりを目指して」と題して、社会の变革とともに河川法（河川への考え方等）が変化してきたことや、水害や水利用などの共通する問題に対してアジアの各国で協働して取り組んでいる事例などを紹介し、これからの人口減少社会などの社会変化を見通した、住民主役による、話し合いや協働による川づくりについてお話がありました。



●関川流域委員会の活動報告

関川流域委員より、これまでの関川流域委員会の活動報告を行いました。

●報告者

- ①関川流域委員会について : 梅澤 圓了
- ②関川流域における“川や水に対する意識調査”に関する中間とりまとめ : 横田 清士
- ③車座方式住民意見交換会の実施報告 : 保坂 桂子
- ④川の見学会の実施報告 : 岡森 昭晴
- ⑤ワークショップ（川と地域の勉強会）の実施報告 : 小林 正夫



●関川流域の基本的な考え方の取りまとめ結果発表と承認

「安全で親しみのもてる関川、保倉川を目指して（案）」について、関川流域委員と会場の皆さんで意見交換を行い、「線から面へ、地域のつながりと多様性を踏まえて、住民が主体となる安全で親しみのもてる川づくりを目指す」という基本理念が満場の拍手で承認されました。

